

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和2年12月3日 VOL. 144

いいひ いいひ

11月11日は『介護の日』 令和2年度 介護者を励ます集いを開催

『介護の日』である令和2年11月11日（水）小杉苑（藤枝市青木）において、在宅で要介護2以上の御家族を介護している方々を対象に、介護者の苦労を慰安し介護者同士の交流を深めるため「令和2年度介護者を励ます集い」を開催しました。今年度の介護者を励ます集いは第1部：NPO法人静岡団塊創業塾（理事長原田和正氏）のシニア劇団くれば座による公演、第2部：介護施設を運営する石田友子氏によるセミナー、第3部：介護者同士の交流の3部構成により実施しました。

第1部：公演

くれば座の『天使に好かれた男』はガンを患った男性が病気と向き合い生きていく内容で、参加者はそれぞれの思いで熱心に見入っていました。公演は新型コロナウイルスの流行により利用されることが多くなったオンラインシステムを使ったりリモート演劇として上演されました。この取り組みが注目されテレビ局が取材に訪れました。



第2部：セミナー

県内で介護施設を運営し、認知症の人と家族の会 静岡県支部副代表を務める石田友子氏が自身の経験に基づき「介護と上手につきあう方法」をテーマに認知症の症状や介護者としての心構えなどについて講義し、参加者は共感しながらメモをとっていました。参加者からは「今後、介護をするときに参考にしたい」「認知症について勉強になった。」という感想がありました。



第3部：介護者同士の交流

テーブル別に介護者同士の交流時間を設け、介護するなかで大変なことや悩んでいることを話しました。参加者が自分の状況を話すと別の参加者からは「大変な思いをしているのは自分だけではない」「自分より大変な人がいて自分はまだ良いほう」という言葉が聞かれました。介護している同じ立場の方々と話しをすることで共感することが多く「交流時間がもっとほしかった」という感想が出るほど交流は盛り上がりました。



ケアラーズカフェ（認知症介護家族の集い）の周知

藤枝市の委託事業として本音や悩みを打ち明け合い、一人で悩まず少しでも心を軽くするため、ほっとな居場所輪笑（藤枝市青木）で毎月第3土曜日に認知症介護家族の集い「ケアラーズカフェ」を開催していることを周知しました。

